

# 「教育実習に関する調査」報告

教育実習調査委員会

本調査は、昭和55年度に企画され、56年度に行われた予備調査をもとに実施されたものである。  
(予備調査の結果については「教育実践研究指導センター研究報告第1号」を参照されたい。)  
調査実施時の教育実習意識調査小委員会委員はつぎの通りである。

青 木 稔	佐 藤 勝 弘
五十嵐 由利子	佐 藤 勉
生 田 孝 至	沢 田 可 昭
池 山 康 栄	高 山 次 嘉 (委員 長)
沖 明	田 川 利 昭
近 藤 健	田 辺 茂
斎 藤 勉	塚 野 巳三郎
笹 井 智 夫	吉 川 弘 (小委員 長)
	(五十音順)

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

教育実習を終了した学生に教育実習に関する意見を求め、今後の教育実習の充実、改善のための基礎資料を提示する。

### (2) 調査対象

教育学部4年次学生(昭和56年度) 475名

### (3) 調査時期

昭和57年2月

### (4) 調査方法

質問紙法

### (5) 回答者

286名(回収率60.2%)

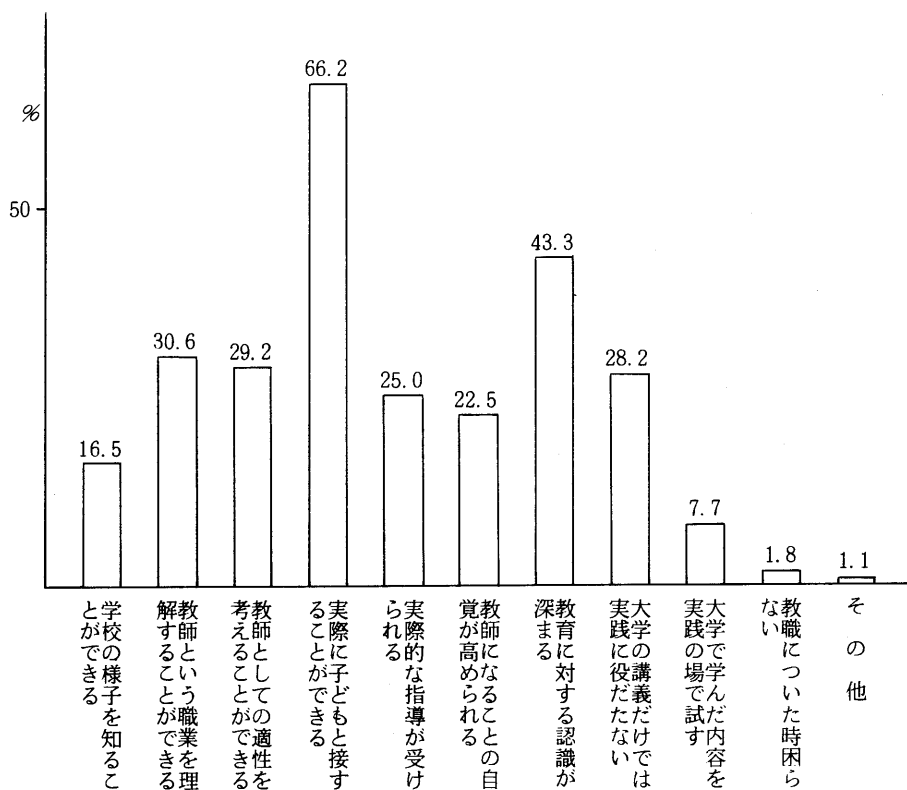
うち有効回答者284名

## 2. 調査結果

### (1) 教育実習の必要性について

特に必要とする理由として「実際に子どもと接することができる」ことを選んだ者が6割強と群を抜いて多く、次いでやや抽象的な「実践を通して教育に対する認識が深まる」ことを選

第1図 教育実習が必要な理由



んだ者が4割強と多い。回答者の3分の2が実際に子どもと接することに、半数近くが実践を通しての教育に対する認識の深化に教育実習の必要性を認めている。女子学生よりも男子学生、ことに低い発達段階の児童を対象とする小教課程の男子学生が、実際に子どもと接することに教育実習の意義を強く感じている。

また、大学の講義だけでは実践に役立たないので、小・中学校の先生に実際的な指導を受けられる点に教育実習の意義を認める者も4分の1ある。ただ、大学で学んだ内容を実践の場で試してみるという積極的な意識は強くないようだ。

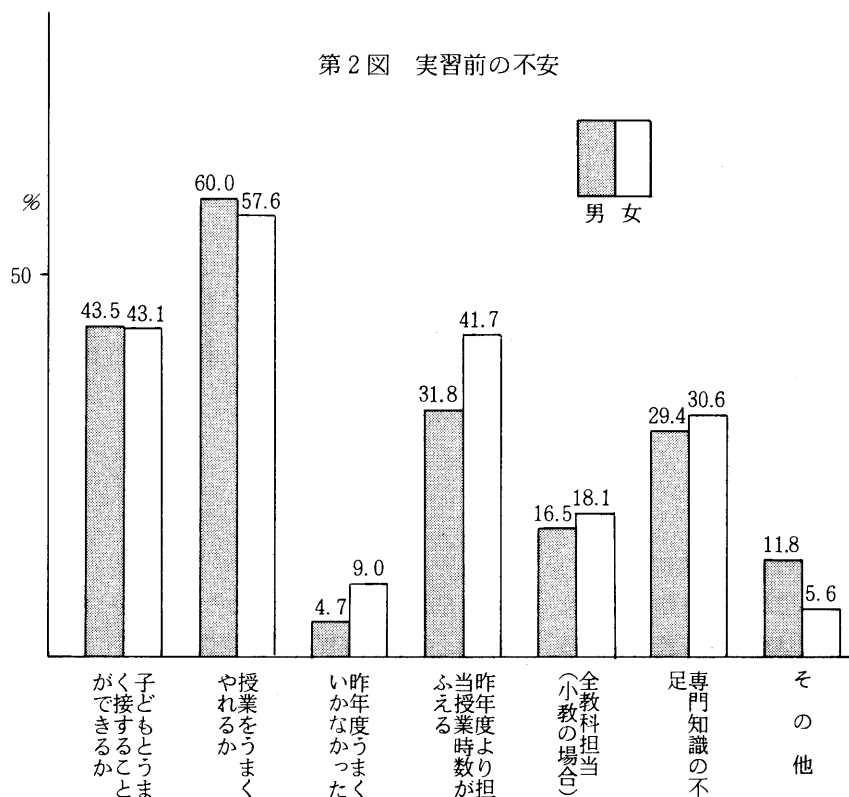
教育実習を経験し、実際に子どもと接し、授業を組織することを通して、教師という職業を理解し、自分の教師としての適性を考え、教師となる自覚が高められるということに、教育実習の意義を認めている者も多い。

学生のほとんどが、大学の講義だけでは学べないことを、現場において実際に具体的体験的に学び得るといふ面から、教育実習の必要性を意識しているといえよう。

(2) 3年次実習前の不安感について

3年次の実習を前にして不安を感じたとする者が8割もいる。女子の場合、大いに不安を感じた者が32.2%あり、男子の約2倍と多い。中教男子の場合、概して実習への不安感は強くないけれども、やはり自分の授業を組織していく力量や教科の専門知識の不足が不安の種とな

っている。これに対して中教女子の場合、子どもとうまく接しうかが最大の不安要因となっている。これは小教女子の不安が、授業をする力量や授業時数の増加など授業と直接かかわったことが多いのと対照的である。最近男子中学生の立派な体格、ふえつつある校内暴力事件などが影響しているのだろうか。2年次実習でうまくいかなかったことを不安の理由とする者は少数である。しかし、そのほとんどが、大いに不安を感じたと答えている。抽象的予測的といえる他の理由による不安と違って、それが具体的体験であるがゆえであろうか。

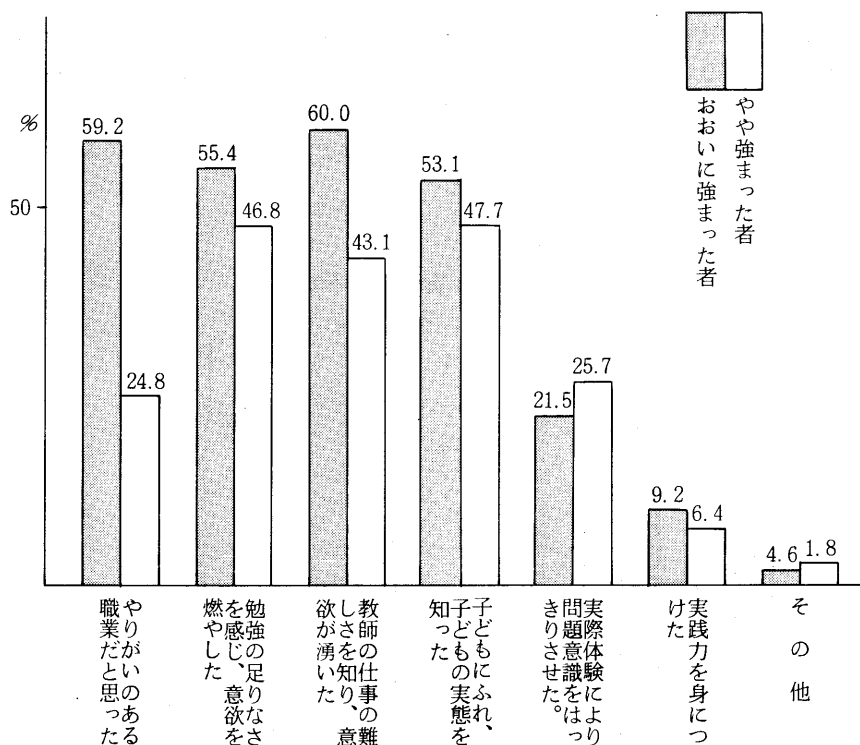


### (3) 教育実習後の教職意識について

教育実習により教職意識が強まったかどうかという質問に対し、幼稚園課程および中学校課程の男子で「やや強まった」とした者の割合が5割と最も多かったが、全体としては「おおいに強まった」が45.6%、「やや強まった」が38.1%であった。すなわち、8割強の学生が実習により教職意識が強まったとしている。

教職意識が「おおいに強まった」理由としては、「a、やりがいのある職業だと思った」、「b、実際の教育にふれてみて勉強のたりなさを感じ、意欲を燃やした」、「c、教師の仕事の意味や難しさを知り、意欲が湧いた」、「d、実際の場で子どもにふれ、子どもの実態を知ることができた」を過半数の者があげている。また、教職意識が「やや強まった」理由としては、b、c、dを4割強の者があげており、aをあげた者は約2割で少なかった。

第3図 教職意識が強まった理由

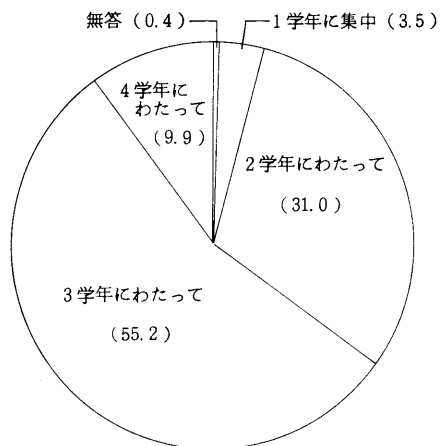


(4) 教育実習の実施年次について

全体としては、「3学年にわたって」が55.2%、「2学年にわたって」が31.0%で、過半数の学生が現状維持を支持している。しかし、中学校課程女子と特設課程で「2学年にわたって実施する」を選んだ者が50%を越えたが、これは、大学における専門授業とのからみがあるものと推測される。

3学年にわたって実施する場合の年次については現状と同じ、2・3・4年次とした者が96.2%である。また、2学年にわたって実施する場合は、3・4年次とする者が多い。

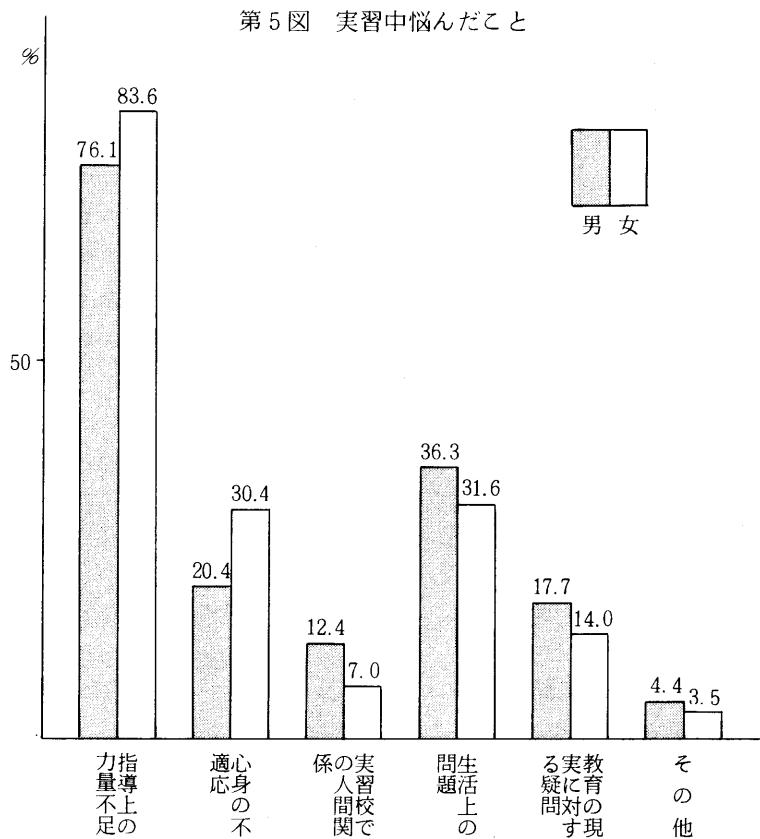
第4図 希望する実習の実施学年



(5) 実習中の悩みや困ったこと

主免の教育実習中に特に悩んだこと、困ったことを問うたところ、284名の者（97.9%）が悩みや困ったことがあると答えている。その悩みや困ったことをみると、最も多かったのは、指導上の力量不足で80.6%がこれをあげている。ついで、生活上の問題の33.5%、心身の不適応の26.4%、教育の現実に対する疑問の15.5%、実習校での人間関係の9.2%の順となっている。

男女別にみてもそれぞれこの順は変わらない。男女の比較では、女子より男子に割合が高いものとして、生活上の問題、実習校での人間関係、教育の現実に対する疑問があり、男子より女子に割合が高いものとして、指導上の力量不足、心身の不適応がある。しかし、その差はほんのわずかで、男女とも似たように状況にあるといつてよい。



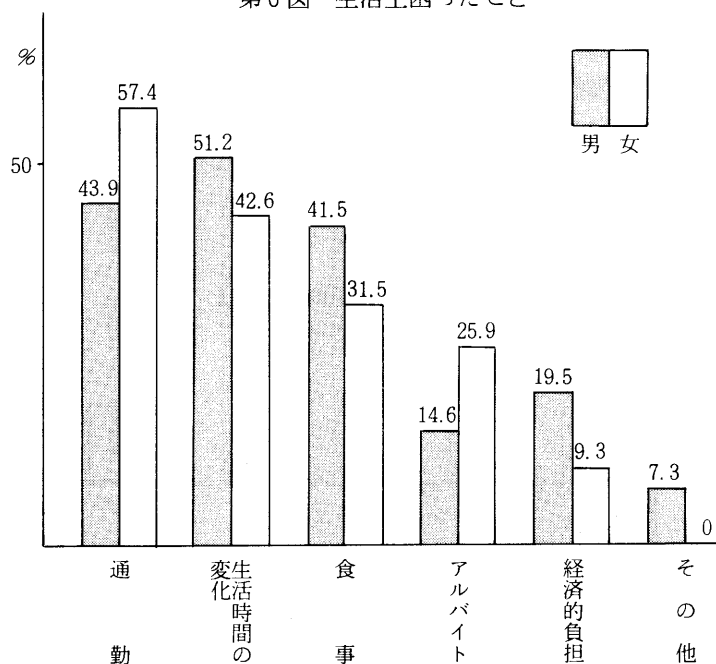
課程別では、幼稚園、小学校、中学校、養護学校はだいたい同じような状況であるが、特設課程では、指導上の力量不足、心身の不適応をあげた者の割合が他に比べて低くなっている。

つぎに、実習中の悩みや困ったこととして「生活上の問題」をあげた者（全体の3分の1に当る33.5%に及ぶ）について、その生活上の問題を具体的にきいたのが第6図である。これをみると、最も多いのは通勤の51.6%、ついで生活時間の変化の46.3%、食事の35.8%、アルバイトの21.1%、経済的負担の13.7%であった（いずれも問題とした者に対する割合）。

男女別にみると、男子は、生活時間の変化、通勤、食事、経済的負担、アルバイトの順となっており、女子は、通勤、生活時間の変化、食事、アルバイト、経済的負担の順である。男女

の比較では、男子のほうに割合が高いものとして、生活時間の变化、食事、経済的負担があり、女子のほうに割合が高いものとして、通勤、アルバイトがある。

第6図 生活上困ったこと



(6) 主免の教育実習中力不足を感じたこと

「非常に力不足を感じた」ものとして、「説明・発問のしかた」61.9%「教材研究」58.0%「授業の進め方・教え方」56.0%と、上位三項目が指導法にかかわる内容となっているのが特徴的である。

このことは、質問5の「実習中に悩んだこと、困ったこと」の最上位に「指導上の力量不足」80.6%と8割の学生がそれをあげていることの裏付けともなっている。

もう一つの特徴的な回答結果は、中教女子が、「生徒指導に力不足を感じている65.6%と「児童・生徒理解」に中教男子が33.0%、中教女子が43.8%になっていることである。

このことは、時代の要請からも、またさまざまな児童・生徒の問題行動にすぐ即応して適切な指導が行えるガイダンス、カウンセリングなどの専門的知識、技能面の修得の必要性を感じさせるものであろう。

「やや力不足を感じた」項目としては、「指導案の書き力」51.1%「教材教具・教育機器の使い方」50.7%があげられているが、他の項目も30~40%前後の平均的な集計結果となっていることが目立っている。

「ほとんど力不足を感じなかった」項目としては、前の項目にもあった「教材教具・教育機器の使い方」22.5%「指導案の書き方」20.8%が上位を占める結果となっているが、反対の意味を示す特徴的な結果と言える。

力不足を感じた具体的な内容

「教材研究」の力不足としては、「子どもの実態に合った教材研究」18.1%「専門的知識不足」13.0%の順となっている。これは、実習校指導教官による子どもの実態についての情報提供の重要性や、大学における「教材研究」の講義内容、さらにオリエンテーション等に、より現場に即したものが求められていると解釈される。

もちろん、教材研究はいろいろな形で行われるが、本命はやはり一単元、題材及び一時間の授業をどのような教材・教具を使って、どのように展開したらよいかという授業の当業者の研究であることなどについてもよく指導する必要がある。

「指導案の書き方」の項目では、「子どもの実態を把握した指導案が書けない」20.7%「学校によって指導案の書き方が異なる」13.5%となっている。

学習指導案は、指導を効果的に行うための必須の要件でもあるので、できるだけ指導案作成上の抵抗を除去しなければと考えられる。

「説明・発問のしかた」の項目では、「児童・生徒の実態に合った発問ができない」20.9%「教師の意図が明確に伝わらない」12.9%「発問・説明がくどくなりすぎる」12.5%が上位を占めている。

このことは、授業担当開始前に、できるだけ指導教官の授業を参観する時間を確保してやること、教師としての基本的訓練を重視し、また、授業反省の際、個々の実習生に応じた密度の濃い指導をしてやることが大切であることを指摘していると言える。

「学級経営」の項目では、「子ども全員に目を向けて把握することの難しさ」19.6%が他の項目を離して目立っている。次に「学習期間が短く、学級のようにすうまく把握できない」8.3%「具体的にどのように経営したらよいかわからない」7.4%の順になっている。これは、子どもの実態把握の難しさと学級経営の方法的理解の重要性を教えてくれるデータとも言える。

「生徒指導」の項目では、「生徒理解の難しさ」16.8%が圧倒的に多く、ついで「生徒指導の方法がわからない」10.5%「厳しい態度がとれない」10.1%となっている。児童・生徒はどれも「だれかにわかってもらいたい」という欲求を持ち、その反面「だれもわかってくれない」という悩みを持っていると思われる。このことを、理解するには、一人一人多様な子どもの実態を見とるため、実習校において、できるだけ子どもとの接触時間を保証してやることと指導教官の懇切な指導が望まれる。

実習校別にみた力不足

つぎに、教育実習を附属校で行った者と協力校で行った者とに分け、それぞれが教育実習中に感じた力不足についてみてみよう。

教材研究

全体の89%の者が「教材研究」に力不足を感じているが、「非常に力不足を感じた。」だけを見ると協力校（60%）よりも、附属校（72%）の方がやや多く感じている。

指導案の書き方

全体の78%の者が「指導案の書き方」に対して力不足を感じているが、附属校と協力校の比較では、わずかであるが、附属校の方において“非常に力不足を感じている”者が多い。

進め方・教え方

「授業の進め方・教え方」について、全体の91%の者が力不足を感じているが、その中でも、非常に力不足を感じた者は、60%近くいる。この傾向は協力校より附属校において強い。「説明・発問のしかた」について、力不足を感じている者は93%いるが、とくに「非常に力不

不足を感じた者」は62%にも達している。これも今までと同じような傾向（附属＞協力校）を示している。「板書のしかた」では、76%が不足を感じているが、「やや力不足を感じた」が全体の45%である。「非常に力不足を感じた」割合を見ると、協力校よりも附属校においての方が多い。

#### 教材・教具・教育機器の扱い方

「教材・教具・教育機器の扱い」についてみると、75%近くが力不足を感じており、協力校よりも附属校においての方が「非常に力不足を感じている」割合が高い。

#### 授業評価

「授業評価」についてみると全体の87%の者が力不足を感じている。非常に力不足を感じている者の割合は、附属校（37%）より協力校（52%）の方が高い。

#### 児童・生徒理解

児童・生徒理解についてみると84%の者が力不足を感じている。非常に力不足を感じている者の割合は、協力校（36%）より附属校（45%）の方が高い。

#### 学級経営

学級経営についてみると81%の者が力不足を感じており、協力校（57%）より附属校（47%）の方が、非常に力不足を感じている者の割合が高い。

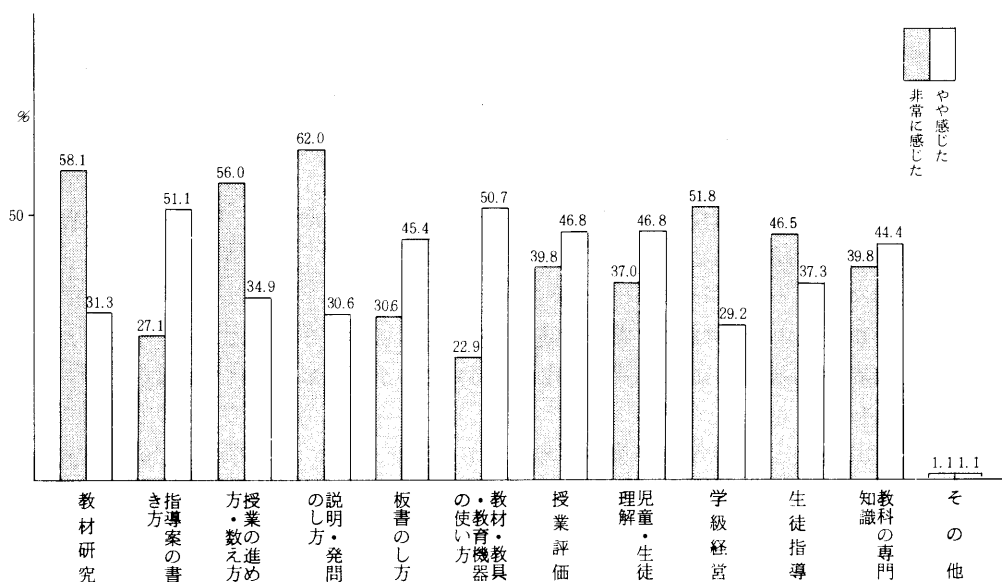
#### 生徒指導

生徒指導についてみると84%の者が力不足を感じており、非常に力不足を感じている者の割合は、協力校（57%）より附属校（47%）の方が高い。

#### 教科の専門的知識

教科の専門知識について84%の者が力不足を感じており、非常に感じている者の割合は、協力校（42%）より附属校（47%）の方が高い。

第7図 教育実習中力不足を感じたこと





(7) 学習時に指導して欲しいこと

本学における教育実習は、2、3、4年次に分けて実施される。これら2、3、4年次それぞれの学習時に重点的に指導して欲しいことをそれぞれ3つ以内選んでもらい、上位5つにしばった結果が第1表である。

第1表 教育実習で重点的に指導してほしいこと（年次別）（％）

年次	順位	1	2	3	4	5
2年次	指導案の書き方 (62.7)	児童・生徒理解 (58.5)	教材研究 (45.8)	授業の進め方・ 教え方 (22.2)	教材・教具・教育機器の 使い方 (19.0)	
3年次	授業の進め方・ 教え方 (48.6)	説明・発問のしかた (48.2)	教材研究 (46.1)	児童・生徒理解 (24.3)	指導案の書き方 (21.1)	
4年次	学級経営 (53.2)	生徒指導 (33.1)	授業の進め方・ 教え方 (27.1)	授業分析 (26.8)	授業評価 (25.4)	

まず、2年次であるが、希望の割合が高い順に5つあげると、指導案の書き方、児童・生徒理解、教材研究、授業の進め方・教え方、教材・教具・教育機器の使い方、である。

つぎに3年次では、授業の進め方・教え方、説明・発問のしかた、教材研究、児童・生徒理解、指導案の書き方である。

4年次では、学級経営、生徒指導、授業の進め方・教え方、授業分析、授業評価、である。

各年次第1位をあげると、2年次 — 指導案の書き方、3年次 — 授業の進め方・教え方、4年次 — 学級経営となり、興味深い結果を示している。

また、各年次にわたり上位に位置するものとしては、指導案の書き方、児童・生徒の理解、教材研究がある。なお、2、3、4年次にわたって選ばれた瀬数から上位10項目をあげると、①教材研究、②児童・生徒理解、③授業の進め方・教え方、④指導案の書き方、⑤説明・発問のしかた、⑥学級経営、⑦授業分析、⑧生徒指導、⑨授業評価、⑩教材・教具・教育機器の使い方となる。ところで、4年次になると、授業分析、授業評価への希望が多くなることも注目させられる。

つぎに、年次別、男女別にみてみよう。（第2表）

第2表 教育実習で重点的に指導してほしいこと（年次・性別）（％）

年次・性別	順位	1	2	3	4	5
2年次	男	指導案の書き方 (61.9)	児童・生徒理解 (56.6)	教材研究 (53.1)	授業の進め方・ 教え方 (29.2)	説明・発問のしかた (13.3) サービス・勤務(〃)
	女	教材研究 (64.9)	指導案の書き方 (63.2)	児童・生徒指導 (59.6)	教材・教具・教育機器の 使い方 (24.0)	サービス・勤務 (20.5)
3年次	男	授業の進め方・ 教え方 (51.3)	教材研究 (47.8)	説明・発問のしかた (45.1)	児童・生徒理解 (25.7)	指導案の書き方 (21.2)
	女	説明・発問のしかた (50.3)	授業の進め方・ 教え方 (46.8)	教材研究 (45.0)	児童・生徒指導 (23.4)	指導案の書き方 (21.1)

順位 年次・性		1	2	3	4	5
4 年 次	男	学級経営 (48.7)	生徒指導 (37.2)	授業分析 (32.7)	授業評価 (30.1)	授業の進め方・ 教え方 (23.9)
	女	学級経営 (56.1)	生徒指導 (30.4)	授業の進め方・ 教え方 (29.2)	授業分析 (22.8)	授業評価 (22.2)

2年次においては、上位5項目として男女ともにあげたものとして、指導案の書き方、児童・生徒理解、教材研究、サービス・勤務、があり、男子に、授業の進め方・教え方、説明・発問のしかた、女子に、教材・教具・教育機器の使い方があげられている。

3年次、4年次は上位5項目としてあげられたものは男女とも全く同じで、男女によってその5項目の順がやや異なる程度である。

年次別、課程別にみてみよう。

第3表 教育実習で重点的に指導してほしいこと（2年次・課程別） (%)

順位 課程		1	2	3	4	5
幼稚園	指導案の書き方 (60.9)			教材・教具・教育機器の 使い方 (43.5)	教材研究 (26.1)	サービス・勤務 (21.7)
	児童・生徒理解 (60.9)					
小学校	指導案の書き方 (64.2)	児童・生徒理解 (63.6)	教材研究 (45.0)	サービス・勤務 (23.2)	授業の進め方・ 教え方 (18.5)	
中学校	指導案の書き方 (57.4)	児童・生徒理解 (48.5)	教材研究 (48.5)	授業の進め方・ 教え方 (35.3)	教材・教具・教育機器の 使い方 (17.6)	
養護 学校	児童・生徒理解 (94.4)	教材研究 (61.1)	指導案の書き方 (57.4)	サービス・勤務 (22.2)	授業の進め方・ 教え方 (16.7)	
特設	指導案の書き方 (75.0)	教材研究 (54.2)	授業の進め方・ 教え方 (33.3)	児童・生徒理解 (25.0)	教材・教具・教育機器の 使い方 (20.8)	

2年次では、ほとんどの課程が、指導案の書き方を1位にあげており、特設課程の割り合いが75%と他に比べて高いことが注目される。つぎは、ほとんどの課程で、児童・生徒理解があげられており、特に養護課程ではこれが1位で、しかも94.4%の者がこれを希望している。指導案の書き方、児童・生徒理解、のつぎには教材研究がある。教材研究は、中学校、養護、特設の課程にやや多くの希望が見られる。なお、以上の項目については、幼稚園、小学校、養護の課程に、サービス・勤務、が、中学校、特設課程に、授業の進め方・教え方があげられている。

第4表 教育実習で重点的に指導してほしいこと（3年次・課程別） (%)

順位 課程		1	2	3	4	5
幼稚園	教材研究 (60.9)	授業の進め方・ 教え方 (43.5)	指導案の書き方 (39.1)	説明・発問のし かた (30.4)	児童・生徒理解 (21.7)	

課程 \ 順位	1	2	3	4	5
小学校	授業の進め方・ 教え方 (53.0)	教材研究 (51.7)	説明・発問のし かた (49.0)	児童・生徒理解 (28.5)	指導案の書き方 (17.9) 板書のしかた (17.9)
中学校	説明・発問のし かた (54.4)	授業の進め方・ 教え方 (42.6)	教材研究 (39.7)	児童・生徒理解 (23.5)	指導案の書き方 (17.6) 教科指導 (17.6)
養護 学校	説明・発問のし かた (44.4)	授業の進め方・ 教え方(38.9) 指導案の書き方 (38.9)		教材研究 (33.3) 教科指導 (33.3)	
特設	授業の進め方・ 教え方 (50.0)	説明・発問のし かた (45.8)	教材研究 (25.0)	指導案の書き方 (20.8)	児童・生徒理解 (16.7) 授業評価 (16.7)

3年次では、いずれの課程においても、1、2位に、授業の進め方・教え方、があげられている。そして、幼稚園、小学校課程では、教材研究が、中学校、養護、特設課程では、説明・発問のしかた、があげられている。3、4位までをみると、この授業の進め方・教え方、説明・発問のしかた、教材研究、がかなり高い割合で希望されていることがわかる。

第5表 教育実習で重点的に指導してほしいこと（4年次・課程別） (%)

課程 \ 順位	1	2	3	4	5
幼稚園	学級経営 (47.8)	授業の進め方・ 教え方 (43.5)	授業評価 (39.1)	授業分析 (21.7) サービス・勤務 (21.7)	
小学校	学級経営 (55.6)	授業の進め方・ 教え方 (31.8)	授業分析 (31.1)	生徒指導 (27.2)	教材研究 (26.5)
中学校	学級経営 (45.6) 生徒指導 (45.6)		授業評価 (33.8)	道徳指導 (25.0) 特活指導 (25.0)	
養護 学校	学級経営 (77.8)	生徒指導 (44.4)	授業分析 (38.9)	授業の進め方・ 教え方(16.7) 教材研究(16.7) 授業評価(16.7)	
特設	学級経営 (45.8) 生徒指導 (45.8)		道徳指導 (29.2)	児童・生徒理解 (25.0)	授業評価 (20.8)

4年次では、すべての課程で、学級経営が1位にあげられており、中学校、特設課程ではこれと並んで、生徒指導があげられている。2位には、幼稚園、小学校課程で、授業の進め方・教え方、が、養護課程で、生徒指導、があげられている。3、4、5位までをみると、いずれの課程でも、授業分析、あるいは、授業評価、があげられており、この項目に対する関心が高いことを知ることができる。また、中学校、特設課程に、生徒指導、が1位にあげられ、道徳指導、が特設では3位、中学校では4位にあげられていることに注目させられる。

## (8) 望ましい主免の教育実習校について

第6表 主免の希望実習校(1)

( ) 内は%

	附属校のみ	協力校のみ	附属校と協力校	わからない	計
幼稚園課程	2 ( 8.7 )	0	19 ( 82.6 )	2 ( 8.7 )	23 (100.0)
小学校課程	6 ( 4.0 )	5 ( 3.3 )	139 ( 92.0 )	1 ( 0.7 )	151 (100.0)
中学校課程	1 ( 1.5 )	8 ( 11.8 )	58 ( 85.2 )	1 ( 1.5 )	68 (100.0)
養護学校課程	1 ( 5.6 )	0	17 ( 94.6 )	0	18 (100.0)
特設課程	0	3 ( 12.5 )	21 ( 87.5 )	0	24 (100.0)
計	10 ( 3.5 )	16 ( 5.6 )	254 ( 89.5 )	4 ( 1.4 )	284 (100.0)

全課程の学生は、附属校と協力校の両方で教育実習を受けることを望ましいと思っている。この結果は、2か年間の教育実習での経験に支えられての回答であるから、尊重する必要がある。これまで附属校のみや協力校のみでしか教育実習を受けていない学生の大多数が附属校と協力校での実習を望んでいることや、これまで附属校と協力校の両方で教育実習を経験した学生の大多数も附属校と協力校での教育実習を強く望んでいる。

第7表 主免の希望実習校(2)

(実数)

3・4年次 の主免実習校	望ましい 実習校	附属校のみ	協力校のみ	附属校と協力校	わからない
附属校のみ		6	0	40	1
協力校のみ		0	8	56	0
3年次附属校 4年次協力校		1	1	48	3
3年次協力校 4年次附属校		2	1	82	0

それでは、附属校と協力校の両方での教育実習を望ましいと思う理由はどのようなことであろうか。昨年度の予備調査に基づいて、次の7つの選択肢から自由に選んでもらった結果は次のとおりである。「指導体制が整っている」「学校の実情や雰囲気がわかる」「地域の特性や実情がわかる」が積極的な理由として挙げられている。

第8表 附属校と協力校での実習が望ましい理由

( ) 内は%

	指導体制が整っている	教育施設が整っている	児童・生徒が協力的	実習生が主体的	学情や校務がわかる	地域の実情がわかる	その他	計
幼稚園課程	15 (78.9)	2 (10.5)	1 (5.3)	5 (26.3)	18 (94.7)	8 (42.1)	0	19
小学校課程	96 (69.1)	22 (15.8)	10 (7.2)	17 (12.2)	113 (81.3)	83 (59.7)	9 (6.5)	139
中学校課程	32 (55.2)	4 (6.9)	7 (12.1)	12 (20.7)	41 (70.7)	28 (48.3)	6 (10.3)	58
養護学校課程	8 (47.1)	4 (23.5)	2 (11.8)	1 (5.9)	11 (64.7)	8 (47.1)	1 (5.9)	17
特設課程	10 (47.6)	2 (9.5)	4 (19.0)	3 (14.3)	18 (85.7)	12 (57.1)	0	21
計	161 (63.4)	34 (13.4)	24 (9.4)	48 (18.9)	201 (79.1)	139 (54.7)	16 (6.3)	254

### 3. ま と め

- (1) 教育実習は、「実際に子どもと接することができるから」、「実践を通して教育に対する認識が深まるから」、「学校の先生に実際的な指導をしていただけるから」などを理由としてはほとんどの者がその必要性を認めている。
- (2) つぎに、教育実習を通じて教職意識は強まるであろうか、このことについて調べてみると、「おおいに強まった」とする者が45.6%、「やや強まった」とする者が38.1%で、8割を越える者が教職意識が強まったとしている。その理由としては、「教師の仕事の意味や難しさを知り、意欲が湧いた」、「実際の教育にふれてみて勉強の足りなさを感じ、意欲を燃やした」、「実際の場で子どもにふれ、子どもの実態を知ることができた」、「やりがいのある職業だと思った」などがあげられている。
- (3) では、この教育実習を前に学生たちは不安を感じてはいないのだろうか、(特に3年次実習を前に)このことについて調べた結果では、「不安を感じた」とする者が8割にも達し、そのうち「大いに不安を感じた」者が全体の4分の1の26.4%である。この不安の主な内容は、「授業をうまくやれるか」、「子どもとうまく接することができるか」、「(3年次実習では)担当授業時数が大巾にふえる」、「教材研究、教科専門科目の履習が途中なので専門知識が十分身につけていない」などがあげられている。
- (4) つぎに、教育実習中に特に悩んだこと、困ったことをみると、「指導上の力量不足」をうったえるものが8割に達している(80.6%)。ついで「生活上の問題」の33.5%、「心身の不適応」の26.4%である。

「生活上の問題」では、通勤の51.6%(男子より女子に多い)、食事の35.8%、アルバイトの21.1%、経済的負担の13.7%である。(いずれも問題とした者に対する割合)

また、「心身の不適応」に悩んだとする者が全体の4分の1ほどあるが、その内容、原因については本調査では明らかにし得なかった。今後面接調査などによりもっとくわしく調べていく必要がある。

- (5) 教育実習中に「指導上の力量不足」で悩んだとする者が8割も存在したが、この指導上の力量不足の程度・内容を調べてみると、「非常に力不足を感じたものとして、「説明・発問のしかた」(61.9%)「教材研究」(58.0%)「授業の進め方・教え方」(56.0%)、「学級経営」(51.8%)、「生徒指導」(46.5%)、「教科の専門的知識」(39.8%)、「授業評価」(39.8%)、「児童・生徒理解」(37.0%)、「板書のし方」(30.6%)などがあげられている。(いずれも3割以上のもの)

これらのうち、いくつかの項目についてさらにくわしくみると、

「教材研究」では、「子どもの実態に合った教材研究」、「専門的知識不足」

「指導案の書き方」では、「子どもの実態を把握した指導案が書けない」、「学校によって指導案の書き方が異なる」

「説明・発問のし方」では、「児童・生徒の実態に合った発問ができない」、「教師の意図が明確に伝わらない」

「学級経営」では、「子ども全員に目を向けて把握することの難しさ」、「実習期間が短く、学級のようなすをうまく把握できない」

「生徒指導」では、「生徒理解の難しさ」、「生徒指導の方法がわからない」、「きびしい態度がとれない」

などがみられる。事前指導における指導の徹底が図られなければならないが、このことはカリ

キュラム改正に及ぶことでもあり、今後の継続研究が必要である。

- (6) では、教育実習で重点的に指導してほしいことは何か、このことについて調べてみると、2年次実習では、

指導案の書き方、児童・生徒理解、教材研究、授業の進め方・教え方、教材・教具・教育機器の使い方。

- 3年次実習では、

授業の進め方・教え方、説明・発問のし方、教材研究、児童・生徒理解、指導案の書き方。

- 4年次実習では、

学級経営、生徒指導、授業の進め方・教え方、授業分析、授業評価があげられる。今後、このことを考慮して各年次における実習（指導）目標を一層明確にしていくことが必要と考えられる。

- (7) ところで、現在教育実習は2、3、4年次にわたって実施しているが、このことについての意見をみると、現在の3学年にわたって実施することを望ましいとする者が55.2%で最も多い。しかし、2学年（3・4年次）を望ましいとする者が31.0%と3分の1近くあることも注目させられる。
- (8) つぎに、実習（主免）校であるが、望ましい実習校についての意見をきいたところ、ほとんどの者が「附属校と協力校」の双方での実習が望ましいとしている（89.5%）。その理由としては、「指導体制が整っている」、「学校の実情や雰囲気がわかる」、「地域の特性や実情がわかる」が主なものである。

# 教育実習に関する調査

新潟大学教育学部教育実践研究指導センター

これは、主免の教育実習を終了したあなたに、教育実習に関する意見を求め、今後の教育実習の充実、改善のための基礎資料を得るために行うものです。ご協力をお願いします。

回答が終了しましたら教育学部教務係に2月12日(金)までに提出してください。(高田分校の方は高田分校教務係へ)

欠の性別、課程別のそれぞれについて、いずれかに○をつけてください。

性別	1. 男 2. 女	課程別	1. 幼稚園 2. 小学校 3. 中学校 4. 養護学校 5. 特設(音・書)
----	-----------	-----	---

問1 教育実習は、教師になるためにどんな点が必要だと思いますか。下の項目から3つ選んで○印をつけてください。なお、その3つのうち特に必要と思うもの1つに◎印をつけて下さい。その他を選んだ時は( )内に記述してください。

1. 学校の様子を知ることができるから
2. 教師という職業を理解することができるから
3. 自分の教師としての適性を考えることができるから
4. 実際に子どもと接することができるから
5. 学校の先生に実際的な指導をしていただけるから
6. 教師になることの自覚が高められるから
7. 実践を通して教育に関する認識が深まるから
8. 大学の講義だけでは実践の役に立たないから
9. 大学で学んだ内容を実践の場で試してみられるから
10. 教職についての時困ったりしないから
11. その他( )

問2 3年次の教育実習の履習を前にして不安を感じましたか。いずれかに○をつけてください。

1. おおいに感じた
2. 少し感じた
3. あまり感じなかった
4. 全く感じなかった
5. わからない

→ 1. 2. を選んだ人は、その理由であてはまるものに○印をつけてください。その他の時は( )内に記述してください。(いくつ選んでもかまいません。)

- a. 子どもにうまく接することができるか心配だから
- b. 授業をうまくやれるか心配だから
- c. 2年次の実習でうまくいかなかったから
- d. 授業の担当時数が2年次よりも大幅にふえるから
- e. 小教の場合、全教科の授業をしなければならぬから
- f. 教材研究・教科専門科目の履習がまだ途中であり、専門知識が十分身につけていないから
- g. その他( )

→ 3. 4. を選んだ人は、不安を感じなかった理由があったら、つぎに記述してください。

( )

質問3 あなたは、教育実習を終了したことによって教職意識が強まりましたか。つぎのいずれかに○をつけてください。

1. おおいに強まった
2. やや強まった
3. かわらない
4. やや弱まった
5. 非常に弱まった

1. 2. を選んだ人は、その理由であてはまるものに○印をつけてください。その他の時は（ ）内に記述してください。（いくつ選んでもかまいません。）

- a. やりがいのある職業だと思った
- b. 実際の教育にふれてみて勉強のたりなさを感じ、意欲を燃やした
- c. 教師の仕事の意味や難しさを知り、意欲が湧いた
- d. 実際の場で子どもにふれ、子どもの実態を知ることができた
- e. 学校での実際体験を通して問題意識をはっきりさせることができた
- f. 実践力を身につけることができた
- g. その他（ ）

質問4 現在、教育実習は2, 3, 4年次に分けて実施していますが、これについてどう思いますか。何学年にわたったらよいか、その場合、実施したらよいと思う年次に○をつけてください。

	1年次	2年次	3年次	4年次
1学年に集中して実施する				
2学年にわたって実施する				
3学年にわたって実施する				
4学年にわたって実施する				

質問5 主免の教育実習中に、あなたが特に悩んだこと、困ったことがありましたら、あてはまるものに○をつけてください。その他の時は（ ）内に記述してください。（いくつ選んでもかまいません。）

1. 指導上の力量不足
2. 心身の不適応（疲労、睡眠不足、精神的不安など）
3. 実習校での人間関係（先生方とのつきあいなど）
4. 生活上の問題（通勤、生活時間の変化、食事、アルバイト、経済的負担など）
5. 教育の現実に対する疑問
6. その他（ ）

4. を選んだ人は、つぎのうち特に悩んだり困ったりしたことに○をつけてください。その他の時は（ ）内に記述してください。（いくつ選んでもかまいません。）

- a. 通勤
- b. 生活時間の変化
- c. 食事
- d. アルバイト
- e. 経済的負担
- f. その他（ ）



問6 主免の教育実習中にあなたは力不足を感じたことがありますか。その程度を項目ごとあてはまるところに○をつけてください。

	a 非 常 に 力 不 足 を 感 じ た	b や 感 じ た 力 不 足 を	c ほ と ん ど 力 不 足 を 感 じ な か っ た
1. 教材研究	a	b	c
2. 指導案の書き方	a	b	c
3. 授業の進め方・教え方	a	b	c
4. 説明・発問のしかた	a	b	c
5. 板書のしかた	a	b	c
6. 教材・教具・教育機器の使い方	a	b	c
7. 授業評価	a	b	c
8. 児童・生徒理解	a	b	c
9. 学級経営	a	b	c
10. 生徒指導	a	b	c
11. 教科の専門的知識	a	b	c

上記のほか力不足を感じたことがありましたらその内容を記述してください。

( )

→ 1. 2. 4. 9. 10.でaまたはbに○をつけた人は、力不足を感じたことを具体的に記述してください。

教材研究

( )

指導案の書き方

( )

説明・発問のしかた

( )

学級経営

( )

生徒指導

( )

17 2, 3, 4年次それぞれの実習時に重点的に指導してほしいことをそれぞれ3つ以内下記から選び、その番号を記入してください。18. その他 を選んだ時は( )内に記述してください。(重複してもかまいません。)

2年次実習    ( )

3年次実習    ( )

4年次実習    ( )

1. 教材研究    2. 指導案の書き方    3. 授業の進め方・教え方    4. 説明・発問のしかた
5. 板書のしかた    6. 教材・教具・教育機器の使い方    7. 授業評価    8. 児童・生徒理解
9. 学級経営    10. 生徒指導    11. 教科の専門的知識    12. 教科指導    13. 道徳指導
14. 特別活動（学級会，クラブ，学校行事など）指導    15. 学習形態    16. 授業分析
17. 服務・勤務    18. その他

質問8 あなたは，3，4年次の実習（主免）をどこで行いましたか。該当番号に○をつけ， に実習地区（①新潟 ②長岡 ③高田）の番号を記入して下さい。

- |           |                      |                      |                      |                      |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 附属校のみ  | 3年次                  | <input type="text"/> | 4年次                  | <input type="text"/> |
| 2. 協力校のみ  | 3年次                  | <input type="text"/> | 4年次                  | <input type="text"/> |
| 3. 3年次附属校 | <input type="text"/> | 4年次協力校               | <input type="text"/> |                      |
| 4. 3年次協力校 | <input type="text"/> | 4年次附属校               | <input type="text"/> |                      |

質問9 実習（主免）は，次のいずれで行ったら望ましいと思いますか。また，その理由についてあてはまるものに○をつけてください。その他の時は（ ）に記述してください。（理由のほうはいくつ選んでもかまいません。）

1. 附属校のみ
2. 協力校のみ
3. 附属校と協力校
4. わからない

（理由）

- a. 指導体制が整っている
- b. 教育施設（教材・教具・教育機器等）が整っている
- c. 児童・生徒が協力的である
- d. 実習生の主体制を尊重している
- e. 学校の実情や雰囲気がわかる
- f. 地域の特性や実情がわかる
- g. その他（ )

質問10 教育実習全体を通じて，あなたが大学に希望することを1つ以上3つまで，次の（ ）に記述してください。

1. ( )
2. ( )
3. ( )

集計表  
質問1 教育実習はどんな点で必要か。

( ) 内は%

	学が 校の 様子を 知ること	教可 師能 という 職業の 理解	教れ る 師へ の適 性が 考えら	実 際 に 子 ど も に 接 する	学 校 の 先 生 か ら 実 際 的	教 師 が 高 め ら れ る こ と へ の 自	教 育 に 対 す る 認 識 が 深	大 学 に 立 た ない 講 義 だ け で は 役	大 学 で 学 ん だ 内 容 を 実 践 の 場 で 試 し て み ら れ	教 職 に つ い た 時 間 ら な	そ の 他	無 回 答	回 答 者
幼稚園(男)	0 ( )	0 ( )	0 ( )	1 (100.0)	0 ( )	0 ( )	0 ( )	1 (100.0)	1 (100.0)	0 ( )	0 ( )	0 ( )	1
幼稚園(女)	7 (31.8)	5 (22.7)	5 (22.7)	15 (68.2)	8 (36.4)	3 (13.4)	9 (40.9)	12 (54.5)	2 (9.1)	0 ( )	0 ( )	0 ( )	22
小学校(男)	13 (21.0)	21 (33.9)	16 (25.8)	47 (75.8)	22 (35.5)	14 (22.6)	24 (38.7)	18 (24.2)	5 (8.1)	2 (3.2)	1 (1.6)	1 (1.6)	62
小学校(女)	13 (14.6)	30 (33.7)	22 (24.7)	61 (68.5)	16 (18.0)	15 (16.9)	44 (49.4)	18 (20.2)	10 (11.2)	0 ( )	2 (2.2)	12 (13.5)	89
中学校(男)	5 (13.9)	13 (36.1)	11 (30.6)	22 (61.1)	8 (22.2)	16 (44.4)	14 (38.9)	7 (19.4)	1 (2.8)	1 (2.8)	0 ( )	1 (2.8)	36
中学校(女)	5 (15.6)	10 (31.3)	14 (43.8)	16 (50.0)	8 (25.0)	5 (15.6)	13 (40.6)	12 (37.5)	0 ( )	1 (3.1)	0 ( )	4 (12.5)	32
養護学校(男)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 ( )	3 (60.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	0 ( )	0 ( )	1 (20.0)	0 ( )	0 ( )	2 (40.0)	5
養護学校(女)	0 ( )	2 (15.4)	5 (38.5)	9 (69.2)	4 (30.8)	3 (23.1)	7 (53.8)	4 (30.8)	1 (7.7)	1 (7.7)	0 ( )	1 (7.7)	13
特設(男)	1 (11.1)	1 (11.1)	5 (55.5)	5 (55.5)	0 ( )	3 (33.3)	4 (44.4)	2 (22.2)	0 ( )	0 ( )	0 ( )	0 ( )	9
特設(女)	2 (13.3)	4 (26.7)	5 (33.3)	9 (60.0)	3 (20.0)	4 (26.7)	8 (53.3)	6 (40.0)	1 (6.7)	0 ( )	0 ( )	2 (13.3)	15
計	20 (17.7)	36 (31.9)	32 (28.3)	78 (69.0)	32 (28.3)	34 (30.1)	42 (37.2)	28 (24.8)	8 (7.1)	3 (2.7)	1 (0.9)	4 (3.5)	113
計	27 (15.8)	51 (29.8)	51 (29.8)	110 (64.3)	39 (22.8)	30 (17.5)	81 (47.4)	52 (30.4)	14 (8.2)	2 (1.2)	2 (1.2)	19 (11.1)	171
計	47 (16.5)	87 (30.6)	83 (29.2)	188 (66.2)	71 (25.0)	64 (22.5)	123 (43.3)	80 (28.2)	22 (7.7)	5 (1.8)	3 (1.1)	25 (8.8)	284

質問2-1(1) 教育実習を前に不安を感じたか。

	おおいに感じた	少し感じた	あまり感じなかった	全く感じなかった	わからない	無回答	計
幼稚園(男)	0 (100.0)	1 (100.0)	0	0	0	0	1 (100.0)
幼稚園(女)	4 (18.2)	13 (59.1)	4 (18.2)	0	1 (4.5)	0	22 (100.0)
小学校(男)	13 (21.0)	37 (59.7)	10 (16.1)	1 (1.6)	1 (1.6)	0	62 (100.0)
小学校(女)	29 (32.6)	48 (54.0)	9 (10.1)	0	1 (1.1)	2 (2.2)	89 (100.0)
中学校(男)	3 (8.3)	22 (61.1)	8 (22.2)	2 (5.6)	0	1 (2.8)	36 (100.0)
中学校(女)	10 (31.3)	18 (56.2)	4 (12.5)	0	0	0	32 (100.0)
養護学校(男)	1 (20.0)	3 (60.0)	0	1 (20.0)	0	0	5 (100.0)
養護学校(女)	5 (38.4)	5 (38.4)	3 (23.1)	0	0	0	13 (100.0)
特設(男)	3 (33.4)	2 (22.2)	2 (22.2)	0	0	2 (22.2)	9 (100.0)
特設(女)	7 (46.7)	5 (33.3)	1 (6.7)	0	0	2 (13.3)	15 (100.0)
計	75 (26.4)	154 (54.2)	41 (14.4)	4 (1.4)	3 (1.1)	7 (2.5)	284 (100.0)

質問 2-1(2) 教育実習を前に感じた不安の内容

	子どもにうまく接する	授業をうまくやれるか	昨年度実習でうまくい	昨年度実習より担当授	小当 教の場合、全教科担	専門知識不足	その他	不安を感じた者	
幼稚園(男)	0 (100.0)	1 (100.0)	0	1 (100.0)	0	0	0	1 (0)	
幼稚園(女)	7 (41.2)	9 (52.9)	0	7 (41.2)	1 (5.9)	6 (35.3)	0	17 (4)	
小学校(男)	23 (46.0)	31 (62.0)	2 (4.0)	16 (32.0)	14 (28.0)	10 (20.0)	6 (12.0)	50 (13)	
小学校(女)	29 (37.7)	49 (63.6)	7 (9.1)	40 (51.9)	19 (24.7)	25 (32.5)	4 (5.2)	77 (29)	
中学校(男)	8 (32.0)	15 (60.0)	1 (4.0)	8 (32.0)	0	11 (44.0)	4 (16.0)	25 (3)	
中学校(女)	15 (53.6)	13 (46.4)	4 (14.3)	8 (28.6)	2 (7.1)	9 (32.1)	1 (3.6)	28 (10)	
養護学校(男)	3 (75.0)	1 (25.0)	0	0	0	2 (50.0)	0	4 (1)	
養護学校(女)	4 (40.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	4 (40.0)	0	2 (20.0)	1 (10.0)	10 (5)	
特設(男)	3 (60.0)	3 (60.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0	2 (40.0)	0	5 (3)	
特設(女)	7 (58.3)	6 (50.0)	1 (8.3)	1 (8.3)	4 (33.3)	2 (16.7)	2 (16.7)	12 (7)	
計	男	37 (43.5)	51 (60.0)	4 (4.7)	27 (31.8)	14 (16.5)	25 (29.4)	10 (11.8)	85 (20)
	女	62 (43.1)	83 (57.6)	13 (9.0)	60 (41.7)	26 (18.1)	44 (30.6)	8 (5.6)	144 (55)
計	99 (43.2)	134 (58.5)	17 (7.4)	87 (38.0)	40 (17.5)	69 (30.1)	18 (7.9)	229 (75)	

「不安を感じた者」の欄の( )は、「おおいに感じた者」

質問3—(1) 教育実習後、教職意識は強まったか。

	お お い に 強 ま っ た	や や 強 ま っ た	か わ ら な い	や や 弱 ま っ た	非 常 に 弱 ま っ た	無 回 答	計
幼稚園(男)	0 (100.0)	1 (100.0)	0	0	0	0	1 (100.0)
幼稚園(女)	8 (36.5)	12 (54.5)	1 (4.5)	1 (4.5)	0	0	22 (100.0)
小学校(男)	33 (53.3)	25 (40.3)	2 (3.2)	1 (1.6)	0	1 (1.6)	62 (100.0)
小学校(女)	45 (49.4)	31 (34.1)	9 (9.9)	3 (3.3)	0	1 (1.1)	89 (100.0)
中学校(男)	12 (33.3)	18 (50.0)	3 (8.3)	2 (5.6)	1 (2.8)	0	36 (100.0)
中学校(女)	11 (34.3)	10 (31.3)	5 (15.6)	3 (9.4)	3 (9.4)	0	32 (100.0)
養護学校(男)	5 (100.0)	0	0	0	0	0	5 (100.0)
養護学校(女)	6 (46.1)	4 (30.8)	1 (7.7)	1 (7.7)	0	1 (7.7)	13 (100.0)
特設(男)	5 (55.6)	3 (33.3)	1 (11.1)	0	0	0	9 (100.0)
特設(女)	5 (33.3)	5 (33.3)	3 (20.0)	1 (6.7)	1 (6.7)	0	15 (100.0)
計	130 (45.6)	109 (38.1)	25 (8.7)	12 (4.2)	5 (1.7)	3 (1.1)	284 (100.0)

質問3-1(2) | おおいに強まった」者の理由

	やりがいの ある職業だ り思っ た	実強 やした 際の不足 を感 じ意欲 をもち 勉	教師の 仕事を 知り意 欲が湧 き難い	子ども の実態 を知っ た	問題 意識が はつき りさ	表と 実践が でき た	そ の 他	お おいに 強まっ た者
幼稚園(男)	0 (62.5)	0 (62.5)	0 (75.0)	0 (37.5)	0 (25.0)	0 (12.5)	0 (0)	0
幼稚園(女)	5 (62.5)	5 (62.5)	6 (75.0)	3 (37.5)	2 (25.0)	1 (12.5)	0 (0)	8
小学校(男)	23 (69.6)	16 (48.5)	14 (42.4)	21 (63.6)	9 (27.3)	4 (12.1)	0 (0)	33
小学校(女)	21 (46.7)	27 (60.0)	28 (62.2)	24 (53.3)	9 (20.0)	3 (6.7)	3 (6.7)	45
中学校(男)	9 (75.0)	9 (75.0)	6 (50.0)	7 (58.3)	2 (16.7)	0 (0)	0 (0)	12
中学校(女)	8 (72.7)	5 (45.5)	9 (81.8)	4 (36.4)	0 (0)	1 (9.1)	2 (18.2)	11
養護学校(男)	2 (40.0)	1 (20.0)	3 (60.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	0 (0)	0 (0)	5
養護学校(女)	5 (83.3)	5 (83.3)	4 (66.7)	5 (83.3)	1 (16.7)	1 (16.7)	1 (16.7)	6
特設(男)	3 (60.0)	2 (40.0)	4 (80.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (0)	5
特設(女)	1 (20.0)	2 (40.0)	4 (80.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	0 (0)	0 (0)	5
計	77 (59.2)	72 (55.4)	78 (60.0)	69 (53.1)	28 (21.5)	12 (9.2)	6 (4.6)	130

質問3-1(3) 「やや強まった」者の理由

	やりがいの ある職業だ	や 強 し た 実 際 に 教 育 に ふ れ て 勉 励 を も た る	や 強 し た 教 師 の 仕 事 の 意 味 や 難 し さ を 知 り 意 欲 が 湧 い た	子 ど も の 実 態 を 知 る こ と が で き た	問 題 意 欲 を は き り さ せ る こ と が で き た	実 践 力 を 身 に つ け る こ と が で き た	そ の 他	や や 強 ま っ た 者
幼稚園(男)	0 (0.0)	0	0	1 (100.0)	0	0	0	1
幼稚園(女)	3 (25.0)	5 (41.7)	8 (66.7)	7 (58.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	0	12
小学校(男)	6 (24.0)	14 (56.0)	9 (36.0)	14 (56.0)	6 (24.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	25
小学校(女)	10 (32.2)	15 (48.4)	14 (45.2)	17 (54.8)	8 (25.9)	2 (6.5)	1 (3.2)	31
中学校(男)	3 (16.7)	7 (38.9)	6 (33.3)	7 (38.9)	5 (27.8)	1 (5.6)	0	18
中学校(女)	0 (0.0)	6 (60.0)	4 (40.0)	1 (10.0)	5 (50.0)	0	0	10
養護学校(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
養護学校(女)	1 (25.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0	0	4
特設(男)	1 (33.3)	0	2 (66.7)	2 (66.7)	0	1 (33.3)	0	3
特設(女)	3 (60.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	0	0	5
計	27 (24.8)	51 (46.8)	47 (43.1)	52 (47.7)	28 (25.7)	7 (6.4)	2 (1.8)	109



質問4 教育実習は何学年にわたって実施したらよいか。

	1 学年に集中	2 学年にわたって	3 学年にわたって	4 学年にわたって	無 回答	計
幼稚園(男)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
幼稚園(女)	0 (0.0)	5 (22.7)	14 (63.7)	3 (13.6)	0 (0.0)	22 (100.0)
小学校(男)	2 (3.2)	8 (12.9)	41 (66.1)	11 (17.7)	0 (0.0)	62 (100.0)
小学校(女)	4 (4.5)	28 (31.5)	50 (56.2)	6 (6.7)	1 (1.1)	89 (100.0)
中学校(男)	2 (5.6)	10 (27.8)	23 (63.8)	1 (2.8)	0 (0.0)	36 (100.0)
中学校(女)	1 (3.1)	16 (50.0)	14 (43.8)	1 (3.1)	0 (0.0)	32 (100.0)
養護学校(男)	0 (0.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	5 (100.0)
養護学校(女)	0 (0.0)	6 (46.2)	6 (46.2)	1 (7.7)	0 (0.0)	13 (100.0)
特設(男)	0 (0.0)	6 (66.7)	2 (22.2)	1 (11.1)	0 (0.0)	9 (100.0)
特設(女)	1 (6.7)	8 (53.3)	4 (26.7)	2 (13.3)	0 (0.0)	15 (100.0)
計	10 (3.5)	88 (31.0)	157 (55.2)	28 (9.9)	1 (0.4)	284 (100.0)

質問5-1(1) 実習中悩んだこと、困ったこと

	指導上の力量不足	心身の不適応	実習校での人間関係	生活上の問題	教育の現実に対する疑問	その他	無 回答	回 答 者
幼稚園(男)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1
幼稚園(女)	18 (81.8)	6 (27.3)	1 (4.5)	4 (18.2)	3 (13.6)	0 (0.0)	1 (4.5)	22
小学校(男)	49 (79.0)	15 (24.2)	10 (16.1)	24 (38.7)	8 (12.9)	1 (1.6)	0 (0.0)	62
小学校(女)	75 (84.3)	28 (31.5)	6 (6.7)	30 (33.7)	11 (12.4)	4 (4.5)	3 (3.4)	89
中学校(男)	28 (77.8)	6 (16.7)	3 (8.3)	13 (36.1)	9 (25.0)	3 (8.3)	1 (2.3)	36
中学校(女)	27 (84.4)	12 (37.5)	2 (6.3)	9 (28.1)	5 (15.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	32
養護学校(男)	3 (60.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5
養護学校(女)	13 (100.0)	5 (38.0)	0 (0.0)	6 (46.2)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	13
特設(男)	5 (55.6)	1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)	2 (22.2)	1 (11.1)	0 (0.0)	9
特設(女)	10 (66.7)	1 (6.7)	3 (20.0)	5 (33.3)	5 (33.3)	1 (6.7)	1 (6.7)	15
男	86 (76.1)	23 (20.4)	14 (12.4)	41 (36.3)	20 (17.7)	5 (4.4)	1 (0.9)	113
女	143 (83.6)	52 (30.4)	12 (7.0)	54 (31.6)	24 (14.0)	6 (3.5)	5 (2.9)	171
計	229 (80.6)	75 (26.4)	26 (9.2)	95 (33.5)	44 (15.5)	11 (3.9)	6 (2.7)	284

質問5—(2) 生活上困ったこと

	通 勤	生活時間 の変化	食 事	ア ル バ イ ト	経 済 的 負 担	そ の 他	回 答 者	
幼稚園(男)	0 (25.0)	0	0	0	0	0	0	
幼稚園(女)	1 (25.0)	3 (75.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0	4	
小学校(男)	15 (62.5)	8 (33.3)	9 (37.5)	4 (16.7)	6 (25.0)	2 (8.3)	24	
小学校(女)	21 (70.0)	12 (40.0)	7 (23.3)	4 (13.3)	4 (13.3)	0	30	
中学校(男)	3 (23.1)	11 (84.6)	6 (46.2)	2 (15.4)	2 (15.4)	0	13	
中学校(女)	6 (66.7)	3 (33.3)	3 (33.3)	2 (22.2)	0	0	9	
養護学校(男)	0	2 (100.0)	0	0	0	0	2	
養護学校(女)	3 (50.0)	4 (66.7)	3 (50.0)	2 (33.3)	0	0	6	
特 設(男)	0	0	2 (100.0)	0	0	1 (50.0)	2	
特 設(女)	0	1 (20.0)	2 (40.0)	5 (100.0)	0	0	5	
計	男	18 (43.9)	21 (51.2)	17 (41.5)	6 (14.6)	8 (19.5)	3 (7.3)	41
	女	31 (57.4)	23 (42.6)	17 (31.5)	14 (25.9)	5 (9.3)	0	54
	49 (51.6)	44 (46.3)	34 (36.8)	20 (21.1)	13 (13.7)	3 (3.2)	95	

質問6—(1)—ア 教育実習中非常に力不足を感じたこと

	教材研究	指導案の書き方	授業の進め方教え方	説明・発問のしかた	板書のしかた	教材の使い方・教具・教育機器	授業評価	児童・生徒理解	学級経営	生徒指導	教科の専門的知識	その他	無回答	回答者
幼稚園(男)	0	0	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	0	1 (100.0)	0	0	1
幼稚園(女)	13 (59.1)	2 (9.1)	16 (72.7)	8 (36.4)	4 (18.2)	3 (13.6)	3 (13.6)	4 (18.2)	8 (36.4)	9 (40.9)	7 (31.8)	1 (4.5)	0	22
小学校(男)	37 (59.7)	24 (38.7)	33 (53.2)	41 (66.1)	29 (46.8)	16 (25.8)	27 (43.5)	23 (37.1)	24 (38.7)	25 (40.3)	20 (32.3)	0	0	62
小学校(女)	63 (70.8)	30 (33.7)	63 (70.8)	64 (71.9)	32 (36.0)	30 (33.7)	47 (52.8)	38 (42.7)	57 (64.0)	46 (51.7)	47 (52.8)	2 (2.2)	0	89
中学校(男)	17 (47.2)	4 (11.1)	7 (19.4)	18 (50.0)	7 (19.4)	5 (13.9)	11 (30.6)	12 (33.3)	14 (38.9)	10 (27.8)	15 (41.7)	0	0	36
中学校(女)	11 (34.4)	6 (18.8)	17 (53.1)	23 (71.9)	4 (12.5)	5 (15.6)	9 (28.1)	14 (43.8)	19 (59.4)	21 (65.6)	11 (34.4)	0	0	32
養護学校(男)	4 (80.0)	3 (60.0)	5 (10.0)	4 (80.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	0	0	5
養護学校(女)	11 (84.6)	7 (53.8)	7 (53.8)	7 (53.8)	4 (30.8)	2 (15.4)	3 (23.1)	5 (38.5)	10 (76.9)	10 (76.9)	5 (38.5)	0	0	13
特設(男)	2 (22.2)	1 (11.1)	4 (44.4)	3 (33.3)	4 (44.4)	1 (11.1)	4 (44.4)	2 (22.2)	3 (33.3)	3 (33.3)	1 (11.1)	0	0	9
特設(女)	7 (46.7)	0	6 (40.0)	8 (53.3)	2 (13.3)	2 (13.3)	6 (40.0)	5 (33.3)	9 (60.0)	6 (40.0)	3 (20.0)	0	0	15
計	165 (58.0)	77 (27.1)	159 (56.0)	176 (61.9)	87 (30.6)	65 (22.9)	113 (39.8)	105 (37.0)	147 (51.8)	132 (46.5)	113 (39.8)	3 (1.1)	0	284

質問6-1(1)-1 教育実習中やや力不足を感じたこと

	教 材 研 究	指 導 案 の 書 き 方	授 業 の 進 め 方 教 え 方	説 明 ・ 発 問 の し か た	板 書 の し か た	教 材 使 い ・ 教 具 ・ 教 育 機 器	授 業 評 価	児 童 ・ 生 徒 理 解	学 級 経 営	生 徒 指 導	教 材 の 専 門 的 知 識	そ の 他	無 回 答	回 答 者
幼稚園(男)	0 (27.2)	0	0	1 (50.0)	0	0	0	1 (50.0)	0	0	0	0	0	1
幼稚園(女)	5 (27.2)	11 (50.0)	4 (18.2)	7 (31.8)	4 (18.2)	10 (45.5)	8 (36.4)	11 (50.0)	5 (22.2)	6 (27.3)	9 (40.9)	1 (4.5)	0	22
小学校(男)	20 (32.3)	28 (45.2)	21 (33.9)	18 (29.0)	26 (41.9)	31 (50.0)	29 (46.8)	29 (46.8)	27 (43.5)	28 (45.2)	32 (51.6)	0	0	62
小学校(女)	22 (24.7)	43 (48.3)	24 (27.0)	22 (24.7)	49 (55.1)	46 (51.7)	37 (41.6)	41 (46.1)	24 (27.0)	31 (34.8)	37 (41.6)	2 (2.2)	0	89
中学校(男)	15 (41.7)	22 (61.1)	23 (63.9)	14 (38.9)	16 (44.4)	16 (44.4)	21 (58.3)	16 (44.4)	13 (36.1)	20 (55.6)	11 (30.6)	0	0	36
中学校(女)	14 (43.8)	14 (43.8)	12 (37.5)	8 (25.0)	14 (43.8)	13 (40.6)	16 (50.0)	12 (37.5)	6 (18.8)	8 (25.0)	17 (53.1)	0	0	32
養護学校(男)	1 (20.0)	5 (100.0)	0	1 (20.0)	0	2 (40.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	0	0	5
養護学校(女)	1 (7.7)	6 (46.2)	5 (38.5)	6 (46.2)	8 (61.5)	8 (61.5)	8 (61.5)	7 (53.8)	1 (7.7)	1 (7.7)	5 (38.5)	0	0	13
特設(男)	5 (55.6)	6 (66.7)	3 (33.3)	4 (44.4)	5 (55.6)	7 (77.8)	3 (33.3)	5 (55.6)	2 (22.2)	3 (33.3)	5 (55.6)	0	0	9
特設(女)	6 (40.0)	10 (60.7)	7 (46.7)	6 (40.0)	7 (46.7)	11 (73.3)	9 (60.0)	8 (53.3)	3 (20.0)	7 (46.7)	9 (60.0)	0	0	15
計	89 (31.3)	145 (51.1)	99 (34.9)	87 (30.6)	129 (45.4)	144 (50.7)	133 (46.8)	133 (46.8)	83 (29.2)	106 (37.3)	126 (44.4)	3 (1.1)	0	284

質問6-1(2)-ア 教材研究で力不足を感じたこと

	子ども教材研究の美態に合った	専門的知識不足	教材の価値がわからな	大学の講義が生かされ	ない	ねらいがおさえられな	一人で行うとかたよっ	指導書にたよってしま	う	指	導	内容がわからない	自分で教材発掘できな	い	指導方法がわからない	教科書中心の授業	日頃の勉強不足	時間不足	教材の系統性がわから	ない	資料不足	その他	回	
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
幼稚園(女)	1 (5.6)	3 (16.7)	2 (11.1)	0	1 (5.6)	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (11.1)	0	0	2 (11.1)	1 (5.6)	0	0	2 (11.1)	0	18	
小学校(男)	12 (21.1)	5 (8.8)	8 (14.1)	3 (5.3)	3 (5.3)	3 (5.3)	0	4 (7.0)	4 (7.0)	6 (10.5)	1 (1.8)	1 (1.8)	3 (5.3)	3 (5.3)	2 (3.5)	1 (1.8)	9 (15.8)	3 (5.3)	0	0	1 (1.8)	0	57	
小学校(女)	13 (15.3)	11 (12.4)	8 (9.4)	3 (3.5)	8 (9.4)	3 (3.5)	4 (4.7)	0	0	3 (3.5)	3 (3.5)	6 (7.1)	3 (3.5)	5 (5.9)	0	5 (5.9)	9 (10.6)	5 (5.9)	2 (2.4)	2 (2.4)	5 (5.9)	0	85	
中学校(男)	5 (15.6)	2 (6.3)	2 (6.3)	2 (6.3)	1 (3.1)	1 (3.1)	1 (3.1)	0	0	2 (6.3)	2 (6.3)	5 (15.6)	0	2 (6.3)	2 (6.3)	2 (6.3)	0	0	2 (6.3)	3 (9.4)	3 (9.4)	0	32	
中学校(女)	3 (12.0)	5 (20.0)	3 (12.0)	1 (4.0)	0	0	1 (4.0)	2 (8.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	0	2 (8.0)	0	1 (4.0)	3 (12.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	0	0	3 (12.0)	0	25
養護学校(男)	1 (20.0)	0	1 (20.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (20.0)	0	0	1 (20.0)	0	0	0	0	1 (20.0)	0	5
養護学校(女)	5 (46.7)	0	3 (25.0)	0	0	0	3 (25.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (8.3)	0	0	0	0	1 (8.3)	0	12
特設(男)	3 (42.9)	1 (14.3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (28.6)	0	0	7	
特設(女)	3 (23.1)	6 (46.2)	0	0	1 (7.7)	1 (7.7)	0	1 (7.7)	1 (7.7)	0	0	1 (7.7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2 (15.4)	0	13
計	46 (18.1)	33 (13.0)	27 (10.6)	9 (3.5)	14 (5.5)	9 (3.5)	9 (3.5)	7 (2.8)	7 (2.8)	12 (4.7)	4 (1.6)	4 (1.6)	4 (1.6)	10 (3.9)	4 (1.6)	10 (3.9)	24 (9.4)	12 (4.7)	12 (4.7)	7 (2.8)	18 (7.1)	0	254	

質問6-(2)-1 指導案の書き方で力不足を感じたこと

回答者	子どもの実態を把握し た指導案が書けない	学校によって指導案の 書き方が異なる	一通りの指導案しか書 けない	うまく文章にできない	ポイントがおさえられ ない	指導案の書き方がわか らない	指導内容のおさえ方が わからない	授業の流れがスムーズ に書けない	自分の授業と異なる 実際の授業と異なる	抽象的なねらいになっ てしまった	授業に山場をつくれな かった	評価の項目がうまく書 けない	ねらいの決め方に苦労 した	指導上の留意点のおさ え方がわからない	細案を書くのにとまど った	実習事前の指導不足	ことば使いがうまくで きない	教材研究の不足 指導案を書く以前の教	その他	回
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園(女)	3 (23.1)	1 (7.7)	0	1 (7.7)	1 (7.7)	0	0	1 (7.7)	0	0	0	0	0	0	0	1 (7.7)	1 (7.7)	0	0	13 (100.0)
小学校(男)	9 (13.3)	10 (19.2)	1 (1.9)	5 (9.6)	3 (5.8)	5 (9.6)	1 (1.9)	2 (3.8)	0	2 (3.8)	3 (5.8)	0	0	2 (3.8)	0	0	4 (7.7)	2 (3.8)	4 (7.7)	52 (100.0)
小学校(女)	18 (24.7)	12 (16.3)	1 (1.4)	4 (5.5)	2 (2.7)	5 (6.8)	3 (4.1)	3 (4.1)	1 (1.4)	2 (2.7)	1 (1.4)	0	0	2 (2.7)	1 (1.4)	2 (2.7)	4 (5.5)	4 (5.5)	4 (5.5)	73 (100.0)
中学校(男)	5 (18.5)	3 (11.1)	1 (3.7)	1 (3.7)	1 (3.7)	1 (3.7)	0	4 (14.8)	1 (3.7)	0	1 (3.7)	1 (3.7)	0	1 (3.7)	1 (3.7)	2 (7.4)	0	0	3 (11.1)	27 (100.0)
中学校(女)	5 (25.0)	1 (5.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	0	2 (10.0)	0	1 (5.0)	0	0	0	1 (5.0)	0	2 (10.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	2 (10.0)	0	0	20 (100.0)
養護学校(男)	1 (12.5)	1 (12.5)	0	2 (25.0)	1 (12.5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8 (100.0)
養護学校(女)	0	1 (7.7)	0	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	1 (7.7)	4 (30.8)	0	0	0	0	0	1 (7.7)	0	0	0	0	0	13 (100.0)
特設(男)	1 (14.3)	0	0	0	3 (42.9)	1 (14.3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (14.3)	7 (100.0)
特設(女)	4 (40.0)	1 (10.0)	0	2 (20.0)	1 (10.0)	0	0	1 (10.0)	1 (10.0)	0	1 (10.0)	0	0	0	1 (10.0)	1 (10.0)	0	0	0	10 (100.0)
計	46 (20.7)	30 (13.5)	5 (2.3)	17 (7.7)	13 (5.9)	15 (6.8)	5 (2.3)	16 (7.2)	3 (1.4)	4 (1.8)	7 (3.2)	2 (0.9)	2 (0.9)	7 (3.2)	8 (3.6)	7 (3.2)	11 (5.0)	6 (2.7)	12 (5.4)	222 (100.0)

質問6-(2)-ウ 説明・発問のしかたで力不足を感じたこと

	教師の意図が明確に伝	児童・生徒理解の不足が 児童・生徒のため、 適切な発問が できない	児童・生徒の実態に合 った発問ができない	児童の思考を深める発 問ができない	発問・説明がくどくな りすぎる	教師の一方的な押しつ けになりやすい	発問をするタイミング がつかめない	抽象的な表現になりが ちな	いきなりあたりばったりに なりやすい	意味の曖昧な発問が多 い	児童の理解しやすい 発問ができない	誘導尋問的になってし まう	発問が一問一答式にな ってしまう	児童の反応が予想でき ない	声量が適当でない ・音質・言葉づか い	児童の発言を次のでき ない生かすことができ ない	子どもの興味・関心を 引くことができない	その他	回
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
幼稚園(女)	1	0	1	2	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	15	
小学校(男)	9	11	10	5	7	1	2	1	2	4	2	1	4	1	2	2	1	59	
小学校(女)	11	5	22	8	13	4	3	3	4	6	2	0	2	1	2	2	1	86	
中学校(男)	4	2	7	0	5	0	3	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	32	
中学校(女)	7	1	6	5	4	3	1	1	2	1	0	1	0	2	1	0	2	31	
養護学校(男)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	5	
養護学校(女)	0	0	5	2	1	0	1	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	13	
特設(男)	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	7	
特設(女)	0	2	3	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1	14	
計	34	21	55	24	33	10	13	8	13	16	6	3	7	5	12	4	5	263	

質問6-②-エ 学級経営で力不足を感じたこと

回答者	その他	子どもたちの健康状態	担任の先生に頼りきり	子どもに対する統制力	どなる教室、という立場で	話し方の難しさ	子ども内疚の交友関係に	学級経営に対する基本姿勢	人間的未熟さを感じた	具体的などのようにか	全員と平等に接すること	問題児がいる場合どう	子ども一人一人を生かすことの難しさ	一人一人の子ども内	しまった教科指導中心にな	実際の不安に就いたと	き不安に就いたと	実際の不安に就いたと	き不安に就いたと	子ども全員に目を向けること
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園(女)	4 (30.8)	0	1 (7.7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (7.7)	0	4	4
小学校(男)	10 (19.6)	2	3 (5.9)	0	2 (3.9)	1 (2.0)	0	1 (2.0)	0	7 (13.7)	0	0	1 (2.0)	5 (9.8)	2 (3.9)	1 (2.0)	1 (2.0)	1 (2.0)	10 (19.6)	
小学校(女)	10 (12.3)	1	0	0	7 (8.6)	1 (1.2)	4 (4.9)	1 (1.2)	2 (2.5)	6 (7.4)	0	2 (2.5)	2 (2.5)	6 (7.4)	3 (3.7)	1 (1.2)	9 (11.1)	1 (1.2)	10 (12.3)	
中学校(男)	6 (22.2)	0	0	3 (11.1)	2 (7.4)	1 (3.7)	2 (7.4)	0	0	3 (11.1)	1 (3.7)	0	0	0	0	0	1 (3.7)	0	6 (22.2)	
中学校(女)	4 (16.0)	1	0	1 (4.0)	1 (4.0)	0	0	1 (4.0)	1 (4.0)	0	1 (4.0)	0	2 (8.0)	1 (4.0)	3 (12.0)	1 (4.0)	5 (20.0)	1 (4.0)	4 (16.0)	
養護学校(男)	1 (20.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (20.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (20.0)	
養護学校(女)	4 (36.4)	0	0	0	0	0	0	1 (9.1)	0	0	0	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	1 (9.1)	0	0	0	4 (36.4)	
特設(男)	2 (40.0)	0	0	0	0	1 (20.0)	0	0	1 (20.0)	0	0	1 (20.0)	0	1 (20.0)	0	0	1 (20.0)	0	2 (40.0)	
特設(女)	4 (33.3)	0	0	0	1 (8.3)	1 (8.3)	1 (8.3)	0	2 (16.7)	0	1 (8.3)	0	0	2 (16.7)	0	0	1 (8.3)	0	4 (33.3)	
計	45 (19.6)	3 (1.3)	9 (3.9)	3 (1.7)	12 (5.2)	5 (2.2)	7 (3.0)	4 (1.7)	6 (2.6)	17 (7.4)	3 (1.3)	4 (1.7)	6 (2.6)	16 (7.0)	9 (3.9)	3 (1.3)	19 (8.3)	3 (1.3)	45 (19.6)	



質問6-(2)-オ 生徒指導で力不足を感じたこと

	厳しい態度がとれない	生徒指導の方法がわか	学習期間が短いので子	生徒指導の価値基準が	生徒理解のむずかしさ	全体を把握することの	非行にはしりかけてい	教師としてより友だち	を公平に扱うこと	生徒と接する機会が少	教生としてどこまで介	生徒ひとりひとりに合	具体的な生徒指導がで	その他	回
幼稚園(男)	0 (6.7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園(女)	1 (6.7)	0	0	0	1 (6.7)	0	0	0	0	0	2 (13.3)	0	1 (6.7)	3 (20.0)	15
小学校(男)	7 (13.2)	9 (17.0)	2 (3.8)	3 (5.7)	10 (18.9)	2 (3.8)	0	2 (3.8)	0	0	2 (3.8)	5 (9.4)	3 (5.7)	2 (3.8)	53
小学校(女)	8 (10.4)	4 (5.2)	7 (9.1)	5 (6.5)	14 (18.2)	1 (1.3)	0	3 (3.9)	1 (1.3)	1 (1.3)	7 (9.1)	2 (2.6)	4 (5.2)	4 (5.2)	77
中学校(男)	1 (3.3)	5 (16.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	5 (16.7)	6 (20.0)	1 (3.3)	0	0	2 (6.7)	2 (6.7)	0	1 (3.3)	1 (3.3)	30
中学校(女)	1 (3.4)	2 (6.9)	4 (13.8)	0	5 (17.2)	2 (6.9)	0	1 (3.4)	0	5 (17.2)	3 (10.3)	1 (3.4)	2 (6.9)	3 (10.3)	29
養護学校(男)	0	0	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
養護学校(女)	3 (27.3)	3 (27.3)	0	1 (9.1)	2 (18.2)	0	0	0	0	0	0	0	1 (9.1)	0	11
特設(男)	1 (16.7)	0	1 (16.7)	0	0	0	0	0	0	0	0	1 (16.7)	0	2 (33.3)	6
特設(女)	2 (15.4)	2 (15.4)	0	2 (15.4)	2 (15.4)	0	1 (7.7)	0	1 (7.7)	2 (15.4)	1 (7.7)	0	0	2 (15.4)	13
計	24 (10.1)	25 (10.5)	18 (7.6)	13 (5.5)	40 (16.8)	11 (4.6)	2 (0.8)	6 (2.5)	2 (0.8)	10 (4.2)	17 (7.1)	9 (3.8)	12 (5.0)	17 (7.1)	238

質問7-1) 2年次実習で指導してほしいこと

	教材研究	指導案の書き方	授業の進め方 教え方	説明・発問のしかた	板書のしかた	教材の使い方 ・教員・教育機器	授業評価	児童生徒理解	学級経営	生徒指導	教科の専門的知識	教科指導	道徳指導	特別活動の指導	学習形態	授業分析	サービス・勤務	その他	無回答	回答者
幼稚園(男)	0 (27.3)	0	0	0	1 (100.0)	1 (100.0)	0	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
幼稚園(女)	6 (27.3)	14 (63.6)	0	0	1 (4.5)	9 (40.9)	0	13 (59.1)	1 (4.5)	1 (4.5)	2 (9.1)	0	0	0	2 (9.1)	4 (18.2)	5 (22.7)	0	1 (4.5)	22
小学校(男)	31 (50.0)	42 (67.7)	17 (27.4)	7 (11.3)	10 (16.1)	6 (9.7)	2 (3.2)	38 (61.3)	5 (8.1)	2 (3.2)	0	1 (1.6)	1 (1.6)	1 (1.6)	4 (6.5)	3 (4.8)	12 (19.4)	0	0	62
小学校(女)	37 (41.6)	55 (61.8)	11 (12.4)	7 (7.9)	4 (4.5)	21 (23.6)	2 (2.2)	58 (65.2)	6 (6.7)	1 (1.1)	1 (1.1)	0	1 (1.1)	3 (3.4)	3 (3.4)	17 (19.1)	23 (25.8)	2 (2.2)	1 (1.1)	89
中学校(男)	22 (61.1)	18 (50.0)	13 (36.1)	7 (9.4)	3 (8.3)	3 (8.3)	0	18 (50.0)	3 (8.3)	4 (11.1)	0	2 (5.6)	0	3 (8.3)	1 (2.8)	4 (11.1)	2 (5.6)	0	0	36
中学校(女)	10 (31.3)	21 (65.6)	11 (34.4)	2 (6.3)	6 (18.8)	9 (28.1)	1 (3.1)	15 (46.9)	3 (9.4)	3 (9.4)	1 (3.1)	0	0	3 (9.4)	4 (12.5)	2 (6.3)	3 (9.4)	1 (3.1)	0	32
養護学校(男)	2 (40.0)	2 (40.0)	0	0	0	0	0	5 (100.0)	0	0	0	0	0	0	1 (20.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	0	0	5
養護学校(女)	9 (69.2)	8 (61.5)	3 (29.1)	1 (7.7)	0	0	0	12 (92.3)	0	0	0	0	0	0	0	0	3 (23.1)	0	1 (7.7)	13
特設(男)	5 (55.6)	8 (88.9)	3 (33.3)	1 (11.1)	0	3 (33.3)	0	2 (22.2)	1 (3.7)	1 (11.1)	0	0	1 (11.1)	0	2 (22.2)	0	0	0	0	9
特設(女)	8 (53.3)	10 (66.7)	5 (33.3)	3 (20.0)	1 (6.7)	2 (13.3)	1 (6.7)	4 (26.7)	0	1 (6.7)	0	1 (6.7)	0	1 (6.7)	0	1 (6.7)	1 (6.7)	0	2 (13.3)	15
計	60 (53.1)	70 (61.9)	33 (29.2)	15 (13.3)	14 (12.4)	13 (11.5)	2 (1.8)	64 (56.6)	9 (8.0)	7 (6.2)	0	3 (2.7)	2 (1.8)	4 (3.5)	8 (7.1)	8 (7.1)	15 (13.3)	0	0	113
計	70 (64.9)	108 (63.2)	30 (19.5)	13 (7.6)	12 (7.0)	41 (24.0)	4 (2.3)	102 (59.6)	10 (5.8)	6 (3.5)	4 (2.3)	1 (0.6)	1 (0.6)	7 (4.1)	9 (5.3)	24 (14.0)	35 (20.5)	3 (1.8)	5 (2.9)	171
計	130 (45.8)	178 (62.7)	63 (22.2)	28 (9.9)	26 (9.2)	54 (19.0)	6 (2.1)	166 (58.5)	19 (6.7)	13 (4.6)	4 (1.4)	4 (1.4)	3 (1.1)	11 (3.9)	17 (6.0)	32 (11.3)	50 (17.6)	3 (1.1)	5 (1.8)	284

質問7-② 3年次実習で指導してほしいこと

	教材研究	指導案の書き方	授業の進め方、教え方	説明・発問のしかた	板書のしかた	教材の使い方 ・教具・教育機器	授業評価	児童生徒理解	学級経営	生徒指導	教科の専門的知識	教科指導	道徳指導	特別活動の指導	学習形態	授業分析	勤務・勤務	その他	無回答	回答者
幼稚園(男)	1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
幼稚園(女)	13 (59.1)	8 (36.4)	9 (40.9)	7 (31.8)	4 (18.2)	1 (4.5)	2 (9.1)	5 (22.7)	4 (18.2)	0	2 (9.1)	4 (18.2)	0	0	1 (4.5)	2 (9.1)	0	0	1 (4.5)	22
小学校(男)	33 (53.2)	13 (21.0)	33 (53.2)	28 (45.2)	12 (19.4)	10 (16.1)	5 (8.1)	18 (29.0)	4 (6.5)	6 (9.7)	3 (4.8)	2 (3.2)	2 (3.2)	2 (3.2)	3 (4.8)	8 (12.9)	1 (1.6)	0	0	62
小学校(女)	45 (50.6)	14 (15.7)	47 (52.8)	46 (51.7)	15 (16.9)	12 (13.5)	9 (10.1)	25 (28.1)	10 (11.2)	1 (1.1)	6 (6.7)	6 (6.7)	1 (1.1)	3 (3.4)	0	7 (7.9)	1 (1.1)	0	2 (2.2)	89
中学校(男)	14 (38.9)	7 (19.4)	16 (44.4)	16 (44.4)	4 (11.1)	5 (13.9)	9 (25.0)	9 (25.0)	2 (5.6)	2 (5.6)	4 (11.1)	4 (11.1)	3 (8.3)	5 (13.9)	0	3 (8.3)	1 (2.8)	0	1 (2.8)	36
中学校(女)	13 (40.6)	5 (15.6)	13 (40.6)	21 (62.6)	3 (9.4)	4 (12.5)	3 (9.4)	7 (21.9)	3 (9.4)	3 (9.4)	3 (9.4)	8 (25.0)	2 (6.3)	0	0	4 (12.5)	1 (3.1)	0	1 (3.1)	32
養護学校(男)	3 (60.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	2 (40.0)	0	0	1 (20.0)	0	0	0	1 (20.0)	0	0	0	0	0	0	0	5
養護学校(女)	3 (23.1)	6 (46.2)	5 (38.5)	5 (38.5)	0	1 (7.7)	0	0	0	2 (15.4)	1 (7.7)	5 (38.5)	3 (23.1)	0	0	1 (7.7)	3 (23.1)	0	1 (7.7)	13
特設(男)	3 (33.3)	2 (22.2)	6 (66.7)	4 (44.4)	2 (22.2)	1 (11.1)	0	1 (11.1)	2 (22.2)	1 (11.1)	0	0	1 (11.1)	0	1 (11.1)	0	0	0	1 (11.1)	9
特設(女)	3 (20.0)	3 (20.0)	6 (40.0)	7 (46.7)	0	2 (13.3)	4 (26.7)	3 (20.0)	1 (6.7)	0	1 (6.7)	2 (13.3)	2 (13.3)	1 (6.7)	0	1 (6.7)	0	0	3 (20.0)	15
計	54 (47.8)	24 (21.2)	58 (51.3)	51 (45.1)	20 (17.7)	16 (14.2)	14 (12.4)	29 (25.7)	8 (7.1)	9 (8.0)	7 (6.2)	7 (6.2)	6 (5.3)	7 (6.2)	4 (3.5)	11 (9.7)	2 (1.8)	0	2 (1.8)	113
計	77 (45.0)	36 (21.1)	80 (46.8)	86 (50.3)	22 (12.9)	20 (11.7)	18 (10.5)	40 (34.4)	18 (10.5)	6 (3.5)	13 (7.6)	25 (14.6)	8 (4.7)	4 (2.3)	1 (0.6)	15 (8.8)	5 (2.9)	0	8 (4.7)	171
計	131 (46.1)	60 (21.1)	138 (48.6)	137 (48.2)	42 (14.8)	36 (12.7)	32 (11.3)	69 (24.3)	26 (9.2)	15 (5.3)	20 (7.0)	32 (11.3)	14 (4.9)	11 (3.9)	5 (1.8)	26 (9.2)	7 (2.5)	0	10 (3.5)	284

質問7-③ 4年次実習で指導してほしいこと

	教材研究	指導案の書き方	授業の進め方、教え方	説明・発問のしかた	板書のしかた	教材の使い方・教具・教育機器	授業評価	児童生徒理解	学級経営	生徒指導	教科の専門的知識	教科指導	道徳指導	特別活動の指導	学習形態	授業分析	サービス・勤務	その他	無回答	回答者	
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	1 (100.0)	1	0	0	0	0	1	
幼稚園(女)	4 (18.2)	0	10 (45.5)	4 (18.2)	1 (4.5)	0	8 (36.4)	2 (9.1)	11 (50.0)	3 (13.6)	2 (9.1)	1 (4.5)	1 (4.5)	3 (13.6)	0	5 (22.7)	5 (22.7)	0	0	1 (4.5)	22
小学校(男)	19 (30.6)	3 (4.8)	19 (30.6)	12 (19.4)	2 (3.2)	2 (3.2)	15 (24.2)	11 (17.7)	33 (53.2)	19 (30.6)	3 (4.8)	1 (1.6)	5 (8.1)	6 (9.7)	1 (1.6)	21 (33.9)	10 (16.1)	0	0	1 (1.6)	62
小学校(女)	21 (23.5)	2 (2.2)	29 (32.6)	23 (25.8)	1 (1.1)	1 (1.1)	17 (19.1)	19 (21.3)	51 (57.3)	22 (24.7)	9 (10.1)	10 (11.2)	9 (10.1)	16 (18.0)	13 (14.6)	26 (29.2)	2 (2.2)	0	0	1 (1.1)	89
中学校(男)	4 (11.1)	0	5 (13.9)	4 (11.1)	0	0	14 (38.9)	8 (22.2)	14 (38.9)	16 (44.4)	3 (8.3)	4 (11.1)	10 (27.8)	8 (22.2)	3 (8.3)	11 (30.6)	2 (5.6)	0	0	0	36
中学校(女)	3 (9.4)	0	7 (21.9)	7 (21.9)	0	1 (3.1)	9 (28.1)	5 (15.6)	17 (53.1)	15 (46.9)	3 (9.4)	5 (15.6)	7 (21.9)	9 (28.1)	0	4 (12.5)	1 (3.1)	0	0	1 (3.1)	32
養護学校(男)	1 (20.0)	0	1 (20.0)	0	0	0	1 (20.0)	0	3 (60.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	0	0	0	3 (60.0)	1 (20.0)	0	0	0	5
養護学校(女)	2 (15.4)	0	2 (15.4)	2 (15.4)	1 (7.7)	0	2 (15.4)	1 (7.7)	11 (84.6)	6 (46.2)	0	0	1 (7.7)	2 (15.4)	0	4 (30.8)	1 (7.7)	0	0	1 (7.7)	13
特設(男)	1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)	2 (22.2)	0	0	3 (33.3)	1 (11.1)	5 (55.6)	5 (55.6)	0	0	2 (22.2)	2 (22.2)	1 (11.1)	2 (22.2)	0	0	0	0	9
特設(女)	1 (6.7)	0	2 (13.3)	1 (6.7)	0	3 (20.0)	2 (13.3)	5 (33.3)	6 (40.0)	6 (40.0)	2 (13.3)	1 (6.7)	5 (33.3)	1 (6.7)	0	0	1 (6.7)	0	0	3 (20.0)	15
計	25 (22.1)	4 (3.5)	27 (29.9)	18 (15.9)	2 (1.8)	2 (1.8)	34 (30.1)	20 (17.7)	55 (48.7)	42 (37.2)	7 (6.2)	6 (5.3)	17 (15.0)	17 (15.0)	6 (5.3)	37 (32.7)	13 (11.5)	0	0	1 (0.9)	113
	31 (18.1)	2 (1.2)	50 (29.2)	37 (21.6)	3 (1.8)	5 (2.9)	38 (22.2)	32 (18.7)	96 (56.1)	52 (30.4)	16 (9.4)	17 (9.9)	23 (13.4)	31 (18.1)	13 (7.6)	39 (22.8)	10 (5.8)	0	0	7 (4.1)	171
計	56 (19.7)	6 (2.1)	77 (27.1)	55 (19.4)	5 (1.8)	7 (2.5)	72 (25.4)	52 (18.3)	151 (53.2)	94 (33.1)	23 (8.1)	23 (8.1)	40 (14.1)	48 (16.9)	19 (6.7)	76 (26.8)	23 (8.1)	0	0	8 (2.8)	284

質問8 3・4年次の主免実習校

	附属校の み	協力校の み	3・4年次 次附属校	3・4年次 次協力校	3・4年次 次附属校	3・4年次 次協力校	無 回 答	計
幼稚園(男)	0	0	1 (100.0)	0	0	0	0	1 (100.0)
幼稚園(女)	15 (68.2)	0	7 (31.8)	0	0	0	0	22 (100.0)
小学校(男)	10 (16.1)	16 (25.8)	14 (22.6)	22 (35.5)	0	0	0	62 (100.0)
小学校(女)	7 (7.9)	30 (33.7)	10 (11.2)	40 (45.0)	2	2	2	89 (100.0)
中学校(男)	5 (13.9)	9 (25.0)	13 (36.1)	6 (16.7)	3	3	3	36 (100.0)
中学校(女)	2 (6.3)	8 (25.0)	8 (25.0)	7 (21.9)	7	7	7	32 (100.0)
養護学校(男)	5 (100.0)	0	0	0	0	0	0	5 (100.0)
養護学校(女)	3 (23.1)	0	0	10 (76.9)	0	0	0	13 (100.0)
特設(男)	—	—	—	—	—	—	—	—
特設(女)	—	—	—	—	—	—	—	—
計	47 (18.1)	63 (24.2)	53 (20.4)	85 (32.7)	12 (4.6)	12	12	260 (100.0)

質問9—(1) 望ましい主免実習校

	附属校の み	協力校の み	附属校と 協力校	わ か ら な い	計
幼稚園(男)	0	0	0	1 (100.0)	1 (100.0)
幼稚園(女)	2 (9.1)	0	19 (86.4)	1 (4.5)	22 (100.0)
小学校(男)	4 (6.5)	3 (4.8)	55 (88.7)	0	62 (100.0)
小学校(女)	2 (2.2)	2 (2.2)	84 (94.5)	1 (1.1)	89 (100.0)
中学校(男)	0	5 (13.9)	30 (83.3)	1 (2.8)	36 (100.0)
中学校(女)	1 (3.1)	3 (9.4)	28 (87.5)	0	32 (100.0)
養護学校(男)	1 (20.0)	0	4 (80.0)	0	5 (100.0)
養護学校(女)	0	0	13 (100.0)	0	13 (100.0)
特設(男)	0	0	9 (100.0)	0	9 (100.0)
特設(女)	0	3 (20.0)	12 (80.0)	0	15 (100.0)
計	10 (3.5)	16 (5.6)	254 (89.5)	4 (1.4)	284 (100.0)

質問9-(2)-ア 附属校のみの実習が望ましい理由

	指導体制が整っている	教育施設が整っている	児童・生徒が協力的で	実習生の主体制を尊重	学校の実情や雰囲気が	地域の実情や特性がわ	その他	回答者
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園(女)	2 (100.0)	0	1 (50.0)	1 (50.0)	0	0	0	2
小学校(男)	4 (100.0)	2 (50.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	0	0	4
小学校(女)	2 (100.0)	1 (50.0)	1 (50.0)	0	0	0	0	2
中学校(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
中学校(女)	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	1
養護学校(男)	1 (100.0)	0	0	0	0	0	0	1
養護学校(女)	0	0	0	0	0	0	0	0
特設(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
特設(女)	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10 (100.0)	3 (30.0)	4 (40.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	0	0	10

質問9-(2)-イ 協力のみの実習が望ましい理由

	指導体制が整っている	教育施設が整っている	児童・生徒が協力的である	実習生の主体性を尊重している	学校の実情や雰囲気がわかる	地域の特性や実情がわかる	その他	回答者
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園(女)	0	0	0	0	0	0	0	0
小学校(男)	0	0	0	1 (33.3)	2 (66.7)	3 (100.0)	0	3
小学校(女)	0	0	1 (50.0)	2 (100.0)	1 (100.0)	0	0	2
中学校(男)	0	0	1 (20.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	4 (80.0)	1 (20.0)	5
中学校(女)	0	0	1 (33.3)	1 (33.3)	2 (66.7)	0	0	3
養護学校(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
養護学校(女)	0	0	0	0	0	0	0	0
特設(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
特設(女)	0	0	1 (33.3)	1 (33.3)	2 (66.7)	2 (66.7)	0	3
計	0	0	4 (25.0)	6 (37.5)	9 (56.3)	9 (56.3)	1 (6.3)	16

質問9-②-ウ 附属校と協力校での実習が望ましい理由

	指導体制が整っている	教育施設が整っている	児童・生徒が協力的である	実習生の主体性を尊重している	学校の事情や雰囲気がわかる	地域の特性や実情がわかる	その他	回答者
幼稚園(男)	0	0	0	0	0	0	0	0
幼稚園(女)	15 (78.9)	2 (10.5)	1 (5.3)	5 (26.3)	18 (94.7)	8 (42.1)	0	19
小学校(男)	36 (65.5)	7 (12.7)	3 (5.5)	8 (14.5)	46 (83.6)	31 (56.4)	4 (7.3)	55
小学校(女)	60 (71.4)	15 (17.9)	7 (8.3)	19 (22.6)	67 (79.8)	52 (61.9)	5 (6.0)	84
中学校(男)	12 (40.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	3 (10.0)	22 (73.3)	16 (53.3)	3 (10.0)	30
中学校(女)	20 (71.4)	2 (7.1)	4 (14.3)	9 (32.1)	19 (67.9)	12 (42.9)	3 (10.7)	28
養護学校(男)	0	0	0	0	0	0	0	4
養護学校(女)	8 (61.5)	4 (30.8)	2 (15.4)	1 (7.7)	11 (84.6)	8 (61.5)	1 (7.7)	13
特設(男)	3 (33.3)	1 (11.1)	1 (11.1)	1 (11.1)	7 (77.8)	6 (66.7)	0	9
特設(女)	7 (58.3)	1 (8.3)	3 (25.0)	2 (16.7)	11 (91.7)	6 (50.0)	0	12
計	161 (63.4)	34 (13.4)	24 (9.4)	48 (18.9)	201 (79.1)	139 (54.7)	16 (6.3)	254